

## 耳鼻咽喉科研修プログラム

指 導 医 関根 大喜

研 修 期 間 基 本 コ ー ス 選 択 科 目 4 週～3 2 週  
小児科・産婦人科コース  
産 婦 人 科 主 科 選 択 科 目 4 週～2 0 週  
小 児 科 主 科 選 択 科 目 4 週～2 0 週

### 研修目標

耳鼻咽喉科領域の医療、福祉に関する問題については、社会のニーズに対応し、専門医として、医の倫理に基づき診療を適切に実施し、境界領域の疾患の処置を正確に行う。

### 一般教育目標

必要な症候学の知識に精通し、適切な問診がとれる能力を有するとともに、患者心理を理解して問診する態度を身につける。外来で行いうる検査方法や検査機器を理解し、必要にして十分な検査を行い得る能力を持つ。問診、症状、所見による診断ならびに鑑別診断を行う能力を持つ。

疾患の内容、程度を把握し、適切な専門的外来治療を行う能力を持つ。救急疾患、外来診療に伴う偶発症に対する診断能力、処理能力を身につける。

### 行動目標

外来の受け入れ、文章の作成など

問診

鑑別診断

1. 耳
2. 鼻の副鼻腔
3. 口腔
4. 咽頭
5. 喉頭
6. 気管、食道
7. 頭頸部

救急、偶発症

外来で可能な救急処置ができ、診療に伴う偶発症に対処できる（気管、食

道出血、異物症、めまい、突発性難聴)

#### 入院

主治医として耳鼻咽喉科領域の基本的臨床能力を持ち、入院患者に対する全身、局所管理を適切に実施できる。

#### 検査

耳鼻咽喉科領域の専門的検査の適応に従い実施し、結果を判定、評価する。

1. 聴覚検査
2. 平衡機能検査
3. ファイバースコープ
4. X線検査、CT、MRI
5. 嗅覚検査

月一回定期的カンファレンス

#### 評価

評価はE P O Cを使用し、自己評価及び指導医の評価を行う。